

研究大学コンソーシアム（RUC）の活動について

1. 令和元年度の活動実績について

(1) 全体会議および運営委員会の開催

研究大学コンソーシアム（RUC）は、研究大学強化促進事業の採択機関をはじめとした研究力強化に積極的に取り組む大学等により構成され、各機関における好事例や課題の発信・共有を目的としている。運営に当たっては、すべての構成機関が参加し、コンソーシアムとしての方針を決定する「全体会議」（議長：山本進一 自然科学研究機構客員教授）を設置している。



全体会議(第4回)の様子

2月末には、今年度の活動報告及び来年度の活動計画等について議論する全体会議を開催する予定。なお、全体会議のほか、幹事機関のアドバイザリーボードとして「運営委員会」（委員長：金子修 自然科学研究機構理事）を設置しており、適宜開催している。（※全体会議、運営委員会の構成機関は別添参照）

〈今年度の全体会議 開催実績〉

- ・ 第5回 2月28日（金）（予定）

審議事項：令和元年度活動報告および令和2年度活動計画（案）について
研究大学コンソーシアムへの参画について

等

(2) タスクフォースにおける活動

構成機関における共通する課題・テーマについて3つのタスクフォースを設置して活動している。また、タスクフォースの活動の一環として、勉強会等も適宜実施している。タスクフォースは、各大学等から推薦された各テーマに係る専門家（※）の検討の場となっている。

（※）「高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関するタスクフォース」については、執行部側の視点で議論できる者の参加としている。

○ 高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関するタスクフォース

（座長：自然科学研究機構、26機関が参加）

令和元年度は、リサーチ・アドミニストレーター認定制度導入推進委員会及び文部科学省委託事業「リサーチ・アドミニストレーターに係る質保証制度の構築に向けた調査研究」（受託機関：金沢大学）への有識者の参加、URA 研修制度に関するアンケートの実施等、URA の質保証を目指した取組みを進めた。

〈作業部会〉

- ・ 第5回 12月6日（金） @自然科学研究機構

〈タスクフォース〉

- ・ 第3回 10月9日（水） @AP 虎ノ門会議室

○ 研究力分析の課題に関するタスクフォース

(座長：大阪大学、26機関が参加)

令和元年度は、具体的な個別課題について議論するワーキンググループ(WG)を中心に活動を行い、世界大学ランキングWGに関連して、Times Higher Education (THE) への申し入れを行った。実績は以下のとおり。



研究力分析の課題に関するタスクフォース
人文社会系ミニ・シンポジウムの様子

- ・ 人文社会系 WG 5月8日(水) @自然科学研究機構 11名参加
人文社会系の研究活動の可視化について意見交換
- ・ 世界大学ランキング WG 6月20日(木) @自然科学研究機構 17名参加
THE 世界大学ランキングの研究力評価指標の検討を行っている担当者を招聘し、評価指標に関する講演とディスカッションを実施
- ・ 人文社会系ミニ・シンポジウム 6月21日(金) @東京工業大学 42名参加
人文社会系研究の可視化手法(評価指標)の現状と課題について、海外及び国内の事例共有とディスカッションを実施
- ・ THE 世界大学ランキングに関する申し入れ 9月5日(木)
研究力に関するランキング指標のより適切な運用を目指した要望を提出

○ 国際情報発信に関するタスクフォース

(座長：京都大学、23機関が参加)

令和元年度は、大学等の国際情報発信力を強化・促進するため、引き続き、AAAS(米国科学振興協会)とも連携し、EurekAlert!を国際情報発信プラットフォームとして、英文プレスリリース作成支援サービス(NRAP)の活用などの取組みを進めた。

このほか、ワークショップや共催イベントを通じて好事例等の情報共有を行っている。活動実績は以下のとおり。

- ・ 「Japan SciCom Forum 2019」
(主催：東京工業大学/共催：RUC 国際情報発信タスクフォース、EurekAlert!、理化学研究所)
5月16日(木)、17(金) @東京工業大学地球生命研究所
約120名参加
海外の事例を含め、科学・研究成果の広報・情報発信の課題に係る講演、ディスカッションおよびワークショップ
- ・ 勉強会 5月16日(木) @東京工業大学 12名参加
EurekAlert!を活用した国際情報発信のあり方について講演及び質疑応答
- ・ 大学・研究機関が発信する研究成果の国際情報発信・国際プレスリリース(英文)における研究者等の氏名の記述について(議論の整理) 10月18日(金)
- ・ 「Japan PIO Summit 2019」(主催：北海道大学/共催：RUC 国際情報発信タスクフォース、EurekAlert!、科学技術広報研究会) 11月25日(月) @北海道大学 約80名参加

広報活動の目標設定や効果計測に係る講演、ディスカッション

- ・ EurekaAlert!ユーザーミーティング 2月15日(土)(@Seattle, USA)(予定)
AAAS 年次総会の機会に合わせ、タスクフォースとしてユーザーミーティングを実施

(3) 研究大学コンソーシアムシンポジウム(第3回)の開催

RUC 構成機関における研究力強化に係る好事例等の共有を図るため、構成機関以外も対象に「研究大学コンソーシアムシンポジウム(第3回)」を開催した。今回は、「融合研究促進による研究力強化」をテーマとして、世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)との共催により実施し、51機関214名が参加した。

開催日: 10月18日(金) @東京国際交流館

- ポスター発表: 16機関が自大学の研究力強化の取組み、好事例をポスターで紹介
- メインセッション:

(午前の部)

- ・ 基調講演: 宮野公樹(京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授)
- ・ 好事例等紹介: WPI-I²CNER、WPI-ELSI、岡山大学、奈良先端科学技術大学院大学が登壇



パネルディスカッションの様子

テーマ「融合研究」のチャレンジとインパクト」

- ・ 研究大学コンソーシアムの活動について: 山本進一(RUC 全体会議議長)
- ・ 基調講演: 黒木登志夫(WPI アカデミーディレクター)
- ・ 取組紹介及びディスカッション: 文部科学省科学技術・学術政策研究所、文部科学省研究振興局基礎研究振興課、WPI-ITbM、京都大学が登壇

テーマ「融合研究」～支援・可視化・評価・人材育成の観点から」

※このほか、文部科学省より話題提供が行なわれた

※シンポジウム終了後には、参加者による情報交換会を実施した

(4) ホームページの運用

岡山大学を座長機関とする「広報・情報チーム」を設置し、ホームページの運用を行っている。令和元年度は、RUC 構成機関における好事例、URA 等の取組み、関連イベント等について、随時情報発信を行った。引き続き、ホームページ内の情報発信と内容の充実を図っている。

(広報・情報チームの構成機関は、別添参照)

※研究大学コンソーシアム(RUC)ホームページ (<https://www.ruconsortium.jp/>)

(5) 「エグゼクティブセミナー」「研究力強化人材育成ワークショップ」の実施

研究大学群にとって有益と思われるテーマについて、令和元年度より、新たに研究力向上に寄与する取組を開始した。

○ エグゼクティブセミナー

研究大学コンソーシアム構成機関の研究担当幹部を対象に、EBPM(Evidence Based Policy Making)

の活用と課題について議論するセミナーとして、有識者による講演とパネルディスカッションを実施した。

開催日：8月2日（金）@AP 虎ノ門会議室 56名参加

○ 研究力強化人材育成ワークショップ

研究大学の URA 及び事務職員に向けて、指標に関する基本的な情報を共有し、EBPM 的手法に係る取組・好事例を紹介するとともに、今後の EBPM の取組の促進、URA-事務連携の強化・促進に資するワークショップを開催した。

- ・ 第1回 10月17日（木）@日本橋イノベーションハブ 56名参加
EBPM の取組みや大学 IR 機能の強化にも資する ORCID の活用に関して、好事例及び具体的な活用事例等を紹介
- ・ 第2回 2月19日（水）@AP 虎ノ門会議室（予定）
EBPM の実践に資するエビデンス収集とその手法に関して講演、ディスカッションを実施

2. 今後の活動予定

- ・ 全体会議の開催（年1～2回程度）
- ・ 各タスクフォースの活動（合議またはメールによる開催のほか、タスクフォース主催の勉強会等も随時開催し、各テーマについてさらに議論・情報共有を進める）「研究大学コンソーシアムシンポジウム（第4回）」の開催
- ・ ホームページの運用（RUC 構成機関における好事例、URA 等の取組み、関連イベントなど、随時情報発信を行う）
- ・ 「エグゼクティブセミナー」「研究力強化人材育成ワークショップ」の実施

*上記のほか、研究力強化に関する取組みを必要に応じて実施していく。

以上

1. 研究大学コンソーシアム構成機関

	大学等機関名		大学等機関名
1	北海道大学	18	大阪大学
2	東北大学	19	神戸大学
3	筑波大学	20	岡山大学
4	千葉大学	21	広島大学
5	東京大学	22	山口大学
6	東京医科歯科大学	23	九州大学
7	東京農工大学	24	九州工業大学
8	東京工業大学	25	熊本大学
9	電気通信大学	26	奈良先端科学技術大学院大学
10	新潟大学	27	首都大学東京
11	金沢大学	28	早稲田大学
12	福井大学	29	慶應義塾大学
13	信州大学	30	東京女子医科大学
14	名古屋大学	31	自然科学研究機構
15	名古屋工業大学	32	高エネルギー加速器研究機構
16	豊橋技術科学大学	33	情報・システム研究機構
17	京都大学		

2. 運営委員会構成機関

	大学等機関名		大学等機関名
1	筑波大学	6	岡山大学
2	東京大学	7	九州大学
3	名古屋大学	8	熊本大学
4	京都大学	9	奈良先端科学技術大学院大学
5	大阪大学	10	自然科学研究機構

3. 広報・情報チーム構成機関

	大学等機関名		大学等機関名
1	電気通信大学	3	自然科学研究機構
2	岡山大学	4	情報・システム研究機構